

そらとつちとみどりの会話

NOSAI かがわ

2016

9月

VOL.21

特集

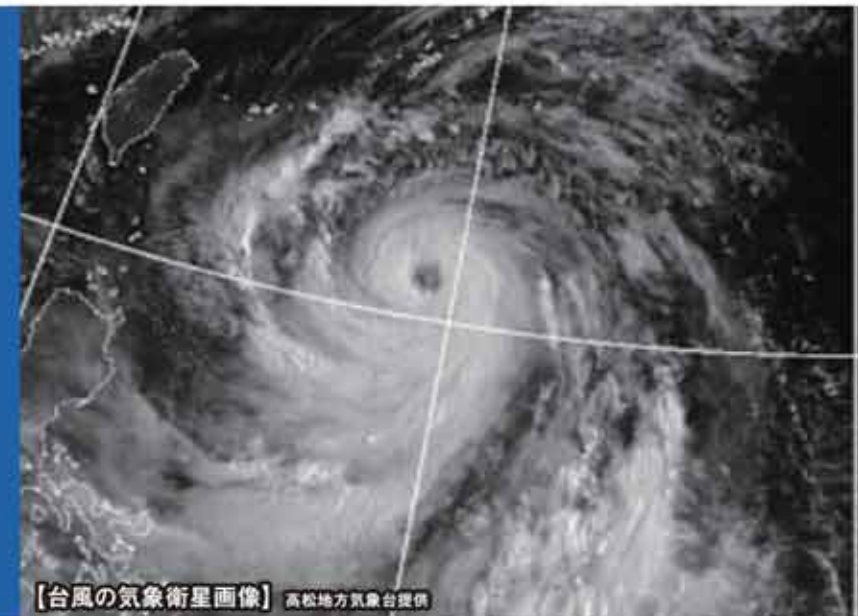
台風災害に備える

安心のネットワーク
NOSAI
香川県農業共済組合





①屋根が崩れ落ちた鉄骨ハウス（平成16年18号 観音寺市）
②高潮による冠水で立ち枯れとなった水稲（平成16年16号 坂出市）
③河川の氾濫で大きくえぐられた水田（平成16年23号 高松市）
④崩壊したナシ園（平成16年15号 観音寺市）
⑤河川の氾濫で冠水した水稲（平成21年9号 さぬき市）



【台風の気象衛星画像】 高松地方気象台提供

台風災害に備える

台風は、7月から10月に発生、接近、上陸ともに最も多くなります。昨年7月に香川県を北上した台風11号では、県内の農業は大きな被害を受け、当組合では約6500万円の共済金を支払いました。被害を最小限に抑えるには、事前準備が大切です。台風がもたらす暴風や豪雨から農業経営を守りましょう。

過去に甚大な被害

香川県は、降雨の少ない瀬戸内海式気候で、山間部もそれほど深くないため大きな河川もなく、自然災害は比較的少ないといわれます。しかし、昭和51年には、台風17号により6日間（9月8日～13日）で小豆島に年間降水量に匹敵する豪雨をもたらしたうえに、県内全域に猛威をふるい死者50人を出す災害が発生しました。また、平成16年には四国に6個もの台風が上陸し、沿岸部に高潮被害が発生した他、東讃地域を中心に記録的な豪雨をもたらすなど、県内は未曾有の大災害が発生しました。

人命第一で早めの対策

台風が接近、通過する可能性があるときは、気象庁の台風情報を基に雨や風などどのような影響があるか把握することが大切です。事前にできる対策（3ページ参照）を早めに行い、被害を最小限にとどめましょう。

人命第一の観点から、ほ場の見回りなどは気象情報を十分に確認し、大雨や強風の影響が出るまでに行ってください。治まった後も増水した水路など危険な場所には近づかず、転落、滑落事故に遭わないようにしましょう。

台風発生と進路

30年間（1981年～2010年、10年ごとに更新）の平均では、年間約26個の台風が発生しています。（図1参照）

発生、接近、上陸ともに7月から10月に多く、夏になると太平洋高気圧のまわりを回って日本に向かって北上する台風が多くなります。（図2参照）

強さと大きさ

大きさは、風速15m/秒以上の強い風の吹いている範囲（距離）をもとに表現します。強さは、中心付近の最大風速（10分間平均風速）をもとに表現します。（図3参照）

風の力は思った以上に強く、風速20m/秒で

【図3】 台風の強さ・大きさ



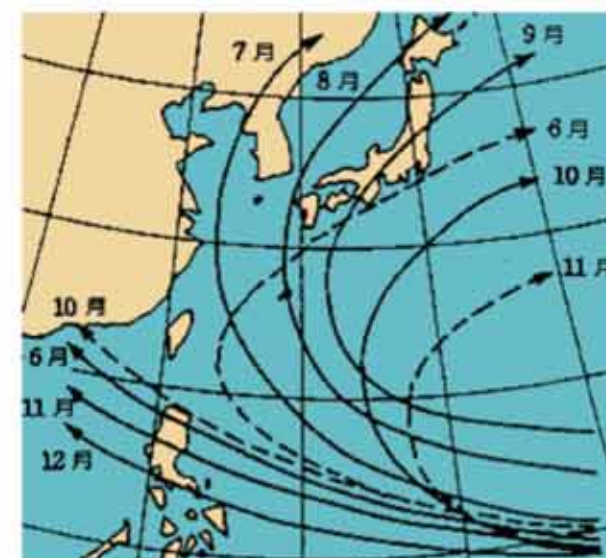
高松地方気象台提供

テレビのdボタンを活用

台風が接近、上陸しそうときには気象庁から情報が出されます。インターネットで確認できる他、テレビのdボタンを押すだけで簡単に確認できます。活用しましょう。

看板が飛ばされたり、歩くことが困難になります。風速30m/秒を超えると煙突が倒壊したり、人が飛ばされたりします。台風時は、外出を控えましょう。

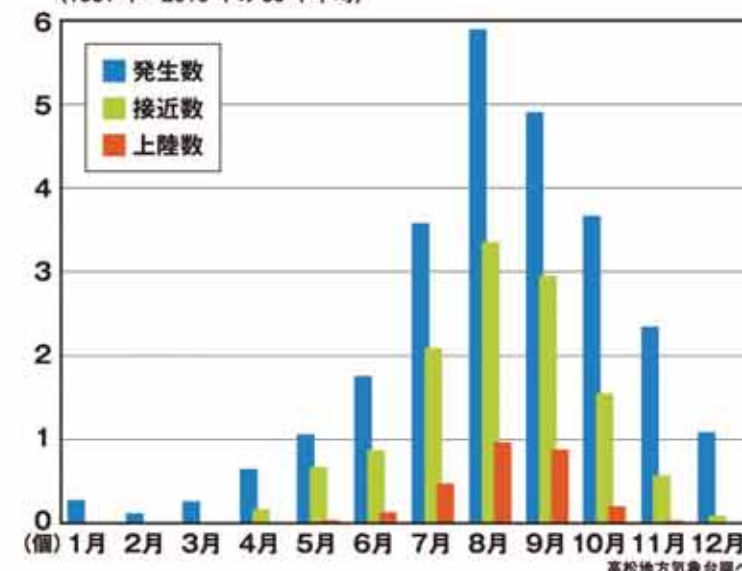
【図2】 台風の月別の主な経路



（実線は主な経路、破線はそれに準ずる経路）

高松地方気象台提供

【図1】 月別の台風発生・接近・上陸数の平年値（1981年～2010年の30年平均）



高松地方気象台調べ

水稲

- ・用排水口の詰まりなどの点検や補修を行い、冠水時の速やかな排水に備える。
- ・深水管理を行い、水分蒸散による稲体水分の補給や倒伏防止に備える。
- ・架干しをしている場合は、架台の補強をする。
- ・収穫期が近く、倒伏などで品質低下が予想される場合は、早めに収穫する。

家畜

- ・畜舎、堆肥舎は損傷、倒壊などを避けるため、補修、補強する。
- ・畜舎への浸水などで家畜への被害が生じる恐れがある場合は、事前に避難場所を確認し、状況に応じて家畜を避難させるなどの適切な処置を行う。
- ・搾乳施設などがある場合は、停電に備えて発電機を準備する。

果樹

- ・強風に備えて防風網や果樹棚支柱、マルチ資材の点検、補修をする。倒伏しやすい樹体は

支柱で補強する。

排水が速やかに行われるよう園地周辺の集排水路の点検、清掃を行う。特に、マルチ栽培の場合は、土砂崩れや石垣の崩壊などにつながる可能性があるので注意する。

・収穫可能な果実はできる限り収穫する。その際、農薬散布から収穫までの経過日数に留意する。



強風を和らげる防風網

大豆

- ・排水不良による湿害で、生育障害を起こさないよう排水対策を徹底する。
- ・大雨で冠水または浸水後の排水対策が速やかに行われるよう、ほ場周辺や排水路の点検整備を行う。

園芸施設

- ・施設周辺に飛散しそうなものがないか確認し、ビニールなどの被覆資材を破損しないようにする。
- ・潮風害が予想される地域は、除塩のための水源を確保する。

建物



園芸施設のマイカ線緩みを確認

・ビニールハウスなどでは穴の補修をし、マイカ線やハウスバンドなどの押さえ材を締め直す。

- ・窓や雨戸はしっかりと鍵をかける。
- ・風で飛ばされそうなゴミ箱や植木鉢などは屋内に片付けるか固定しておく。
- ・断水に備えて飲料水を確保する。トイレなどの生活水も確保するため、浴槽に水をはる。
- ・停電に備えた懐中電灯やロウソクの他、携帯ラジオや救急用品などを準備しておく。

農機具

- ・ほ場に放置せず、必ず納屋や倉庫などに格納する。
- ・格納庫が浸水する恐れがある場合は、土のうを積む。

自然災害は「住まいる」の総合共済でサポート

建物共済「住まいる」には、火災共済と総合共済（左図参照）の2種類があります。総合共済は、火災共済の補償内容に加えて、風水害、土砂崩れ、地震、津波など自然災害の事故も補償します。火災共済だけでは自然災害に対応できません。

昨年は台風11号で建物の屋根や壁が損傷する被害が発生しました。予期できない自然災害に備え、総合共済への加入をおすすめします。

総合共済 1 棟あたり加入限度額 2,000 万円

火災共済

火災 破裂・爆発 落雷

外部からの物体の落下・衝突

盗難による盗損・汚損

給排水設備に生じた偶発的、突発的な事故による水ぬれ損。騒乱に伴う破壊行為による損害。

自然災害

風水害・雪害

土砂崩れ

地震・津波（共済金額の30% 限度）

※盗難に遭った物品等は対象外です。

※長期にわたり漏水している場合や発生時が特定できない場合は対象外です。

台風などの風水害による被害は、1万円を超えた損害から補償します。

掛金の目安 臨時費用担保特約（※）付（年掛金：単位＝円）

建物の用途	構造	総合共済の加入金額		
		500 万円	1,000 万円	2,000 万円
住宅 普通物件 （住宅、倉庫など）	一般造	14,750	29,500	59,000
	耐火造 B	13,500	27,000	54,000
	耐火造 A	12,600	25,200	50,400

※万一、事故にあった時に賠償するであろう費用として損害共済金の20%（1 棟ごとに250 万円限度）をお支払いします。

新設

保管中の農産物を補償

納屋、倉庫などに保管中の米、麦、大豆を対象にした「収容農産物補償特約」を新設しました。総合共済に付帯するもので、特約単独での加入はできません。



河川の氾濫で流失した保管中の米

A タイプ（一時保管向け）	
1 口あたり掛金等	補償期間
1,000 円	最大120 日までの期間
B タイプ（通年保管向け）	
1 口あたり掛金等	補償期間
3,000 円	年間を通して補償

A、B タイプともに主契約の責任期間内

○補償のタイプと掛金

風水害など気象上の原因による災害（地震含む）、火災など

○対象となる災害

最高5 口まで加入できます。

○加入限度額

1 建物1 品目ごとに1 口当たり1 0 0 万円。

○支払共済金

1 事故1 万円を超える損害を受けた場合、実損害額を支払います。ただし、地震、津波などによる事故の場合は、1 建物につき実損害額の30 パーセントが限度になります。

○対象農作物

米、麦、大豆

同特約は「平成27 年9 月の関東・東北豪雨」で河川が氾濫し、保管中の米が流出する被害が多発したことから導入されました。

詳しくは各支所にお問い合わせください。



水稲共済

3品種で引受面積8割超

平成28年産の引受面積は約1万3223haで、前年産と比較して276ha減少しています。

品種別引受面積が一番多いのは「ヒノヒカリ」の4953haで、続いて「コシヒカリ」4897haとなっています。県オリジナルブランドの「おいでまい」は37・4ha増えた1239haでした。この3品種を合わせると全体の80%を超えます。

一方、新規需要米は349haで、昨年より37ha減少する中、米粉用米で前年比123・3%の増加になっています。飼料用米は減少していますが、専用品種での栽培が9・4ha増加し、栽培が定着してきています。

農機具共済

盗難にご注意

県内で農機具の盗難が発生しています。昨年は加入農機具3台が被害に遭い、共済金約1千万円をお支払いしました。

高額な農機具の盗難は、農業経営への打撃が大きく、営農継続にも支障を来しかねません。

稲刈りシーズンを迎え、コンバインなどの農機具が本格稼働します。十分な防犯対策をとり、もしものために、農機具共済に加入しましょう。

盗難被害の防止ポイント

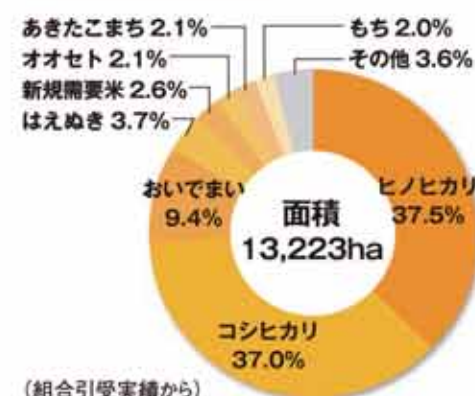
- ・エンジンキーをさしたまま、田畑などに放置しない。
- ・施錠できる倉庫などに格納し、エンジンキーを抜いて別に保管する。
- ・格納庫の奥に止めて軽トラックなどを前に置き、持ち出しにくくする。

損害評価が始まっています

適正な被害申告を

組合では、地区別に損害評価打ち合わせ会を開催し、本年産水稲の損害評価を始めています。損害評価は、それぞれの稲の収穫期に合わせて実施します。組合員の方は、稲の作柄を見て、おおむね3割を超える減収があると思われるときは、共済部長を通じて、作付け耕地一筆ごとに被害申告してください。その際、適正な被害申告をお願いします。

■品種別引受面積



無事戻し金

8月24日からお支払い

無事戻し金は、水稲、麦、大豆、茶、園芸施設共済の過去3年間(平成25年度から27年度)に無事故の方にお支払いします。被害があつても、3年間の共済金と2年間の無事戻し支払合計額が、3年間の農家負担共済掛金の2分の1(園芸施設は3分の1)に満たない方にもお支払いします。なお、建物共済の無事戻し金は、26年度加入に対するものです。

支払戸数と金額

	戸数(戸)	金額(円)
水稲	7,517	15,619,475
麦	76	6,768,785
大豆	35	100,922
茶	3	103,981
園芸施設	465	5,083,124
建物	51,944	34,436,588
合計	(延) 60,040	62,112,875

共済部長協議会

共済部長が活動しやすく



副会長
いまい 良雄さん
(中讃支所)



会長
まなべ としのり
真部 利徳さん
(高松支所)

組合では、農業共済制度の円滑な運営および共済部長等基礎組織の維持、活性化に取り組み、基礎組織への支援体制を強化しています。共済部長が活動しやすい環境づくりに努めることを目的とし、共済部長協議会を設置しています。

7月6日、共済部長協議会を開催し、平成28年度事業実施方針などについて検討しました。

なお、互選により同協議会の会長に真部利徳さん、副会長に今池良雄さんが選ばれました。



被害状況を見る評価員

共済金支払い対象となる災害

風水害、雨害湿潤害、干害など気象上の原因による災害や鳥害、獣害、病害、虫害、火災です。(薬害などは対象外)

収穫後(耕地から搬出後)の被害は、共済責任期間外に発生した損害として、共済金支払い対象外となります。

評価後に台風やイノシシなどで被害が拡大したときは、再評価が必要になります。刈り取り前に、再度ご連絡ください。

果樹共済

損害評価が始まります

樹種別損害評価時期

樹種	評価時期
くり	9月中旬
かき	9月中旬～10月下旬
キウイフルーツ	9月下旬～11月上旬
うんしゅうみかん	9月下旬～11月下旬
いよかん	11月下旬～12月上旬
指定かんきつ	11月下旬～翌年1月下旬

近年、高温乾燥による生理落果や小玉果、秋の長雨での腐敗果、汚損果が多く見られます。またイノシシやサルによる被害は深刻な被害になっています。被害が発生した際は、損害評価野帳に災害の種類、災害の発生日月などを記入し、被害を申告してください。被害園地の入り口には立て札をつるし、収穫終了まで撤去しないでください。

各支所の連絡先

東部支所	高松支所	小豆支所
さぬき市大川町 田面王子1-2 TEL 0879-43-4121	高松市三名町 東原5-6 TEL 087-888-1146 0120-58-1148	土庄町大木戸沖甲 5165-169 TEL 0879-62-0694
中讃支所	仲多度支所	三豊支所
坂出市川津町金山 1825-4 TEL 0877-46-1211	善通寺市与北町 山下110 TEL 0877-62-5970	観音寺市本大町 1378-3 TEL 0875-25-2482 0120-031-304

組合の主な動き

9月	1～14日 高齢農業者表敬訪問 9日 かき現地研修会 13日 損害評価会茶共済部会 15日 かんきつ現地研修会 20日 書写コンクール審査会 26日 損害評価会水稲見回り調査 27日 損害評価会キウイフルーツ見回り調査 28日 監事会、監事研修会
10月	3日 第4回理事会、第3回コンプライアンス委員会 14日 損害評価会かき見回り調査 15日 書写コンクール表彰式 18日 大豆損害評価会委員打合せ、畑作物共済協議会 20～28日 中間監査 26日 損害評価会みかん見回り調査



上種子営農組合のメンバー（前列右から3人目が曾我部代表理事、2人目が山本理事）



高さ1.2m、幅2mのワイヤメッシュを3000枚使用して農地を囲む



本年産水稲から作付け時期を3回に分けた



急傾斜地が大半を占める集落の草刈りをするメンバー

平成27年11月、「組合員の力と絆で、地域と農業を守ろう」をスローガンに、農事組合法人上種子営農組合（メンバー16人、まんのう町）が設立された。代表理事の曾我部良則さん（78）は「集落の農業、農地を守りつつ、収益もしっかりあげていきたい」と意気込む。

集落は、高鉢山と鷹丸山に挟まれ、まんのう町と綾川町の町境に位置する中山間地域。メンバーの平均年齢は63歳で、高齢化する地域農業の中、例外ではない。

管理する耕作農地は8・5haで、本年産水稲は7haに作付け。作業に無理が生じないよう、主力の「コシヒカリ」は4月20日から5月15日まで時期を分けて植え付けた。今秋には小麦1・5haを栽培する計画だ。

法人設立に向けた話し合いの

中で、役割を決めた。農機具のオペレーターをする機械作業管理係、農作物の作付け計画などを立てる営農係、経理等を担当する総務係の三つ。理事を務める山本保太郎さん（69）は「特定の人に負担がかからないよう分業化しました。全員が役割を持つことで責任感や連帯感が出ます」と話す。

農機具の新規購入は控えて、当面は個人所有の機械を低額で借り入れる。3年後から法人所有の農機具を導入する予定だ。

法人設立後、農地を囲むよう全長5kmにワイヤメッシュ柵を設置し、万全な獣害対策を施した。曾我部代表理事は「山に囲まれた地区の農地を守ることは、そこに住む住民の生活を守ること。荒れることのないよう次の世代に残していきたい」と今後の目標を話す。

豊南ブランドに貢献したい

たかはし けんた
観音寺市豊浜町 高橋 健太さん(31)

「自分が種から育てた野菜が、食卓を飾っていると思うと感慨深いものがあります」とは、平成24年に就農した高橋健太さん。レタスを中心に、青ネギ、タマネギ、水稲などを作付けしている。

県内で他業種に就いていたが、「自分で方向を決められ、今後の発展性にも興味がありました」と農業に転職。当初1.4haだった農地面積は、不作付け地を預かるなどして2.4haまで、拡大させてきた。7月には、新しいトラクターを導入し、着々と環境を整えている。

当面の目標は、天候に左右されながらも段取りよく作業できるようになること。課題は、秀品率向上と、拡大した農地で作業効率を上げることだ。「高品質な野菜を出荷していれば、豊南という産地名が広く知られ、産地で選んでくれる人も増えるはず。そのために今は修行中です」と、産地発展に熱意を燃やす。



「地域の人たちに助けられてここまでできました。産地として地域を発展させることで恩返しをしたい」

花で笑顔をお届け

高松市香川町 藤本 眞由美さん(68)



露地8㎡で花を栽培する藤本さん

季節の花を通年で15種類ほど、アスパラガス12㎡を栽培する傍ら育てている藤本眞由美さん。「元々お花を育てるのが大好きなので、自分でいろんな品種の花を咲かせています。楽しく、やりがいがあります」。

心掛けているのは、しっかりと強い茎づくりと、綺麗な花姿。産直市には毎日出荷し、消費者に喜んでもらえる品質づくりを実践している。

「農業は健康が一番。くよくよせず前向きに考えるようにしています。太陽のように明るく元気に、頑張りたいです」と笑顔で話す。

風につて空中散歩

東かがわ市坂元 三谷 周二さん(61)

「周りの景色や飛ぶ感覚を楽しんでいます」とパラグライダーの魅力を話すのは、三谷周二さん。平成2年、東かがわ市坂元に大坂峠フライトエリアが開設されたのをきっかけに始め、もう25年大空を飛んでいる。

現在、香川と徳島の会員25人で構成する「スカイトレックパラグライダークラブ」に所属し、活動している。風向きが良ければ、1フライトで3



共済部長1年目

大空を飛ぶ三谷さん

クロスワードクイズ



今月のプレゼント

正解者の中から抽選で10名の方に、小豆島産の無農薬レモンがたっぷり入った「小豆島ロールとパウンドケーキのセット」(土庄町、瀬戸のスイーツ ウェブ)をお届けします。たくさんのご応募お待ちしております。

応募の宛先 〒761-8083 高松市三名町東原5番地6
香川県農業共済組合クロスワードクイズ係

応募締め切り 平成28年10月20日(木)消印有効 **当選者発表** 平成29年1月発行予定の23号で発表

郵便はがきに、①A～Eを順に並べたクイズの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦NOSAIや広報紙への意見、感想、質問⑧身近な情報などをご記入のうえ、ご応募ください。
※応募によって得られた個人情報、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

1	A	2	3	4	
5	6		D		
		7		8	
9		C			
10			11	B	E
13			14		

たてのカギ

1. 公費
2. うどんの数え方の一つ
3. コガネムシ科の昆虫。雄にはY字型の大きな角がある
4. 「○○○つぶて」とは音沙汰がないこと
6. レシピとは料理の○○○○○
8. 野球で、両チームが攻撃と守備を一度ずつ行う間のこと
9. ○○○の馬鹿力
12. floor (フロア) の和名

よこのカギ

2. 高く打ち寄せる波
5. ウナギのかば焼きを細かく刻んでご飯に乗せた料理
7. 「宿直」の読み方
9. 肥料やガラスの原料となる元素。元素記号はK
10. ○○発電、○○用車
11. 野菜、果物、魚介類などが最も味がよい時期
13. パンに塗る、牛乳の脂肪分を固めて作った食品
14. 机やイスなど、家の中に備える道具の総称

第19号 当選者発表

答え
こどものひ

●当選者 株式会社太の「おこめのおかし おこめケットギフト」をお届けしました。
太田 和弘さん(東かがわ市)、宮地 ミツ子さん(高松市)、釜野 京子さん(高松市)
吉田 友代さん(坂出市)、宇坂 節夫さん(綾川町)、横田 伊都子さん(丸亀市)
三宅 道雄さん(丸亀市)、永井 康則さん(善通寺市)、曾川 敬司さん(観音寺市)、関 史さん(三豊市)

・さぬきひめ・

子ども大好き

丸亀市 村上 志織さん(25)

幼稚園の教諭になって3年目です。子どもたちと一緒に楽しむことを心がけています。子どもたちの成長を感じられたり、「先生大好き」と言ってくれたりしたときは、この仕事をしていて良かったと思います。

趣味は、大学時代に始めたマラソンです。父と一緒に大会に出るのを楽しみに、今も練習をしています。

祖父母はお米や野菜を作っているのので、作業を手伝ったりもします。収穫が待ち遠しいです。



Topics

中讃地域青年クラブ 先進農家に学ぶ 農業経営研修会開催



澤浦氏は、コンニャク市場の暴落で破産状態に直面する中、手作業でコンニャク加工に着手し、家族経営を安定経営に変えてきた農業者。消

で行いました。

「儲かる農業を学ぼう」と、中讃地域青年クラブは毎年1回、農業経営研修会を開催しています。
今年は、株式会社野菜くらぶ(群馬県)澤浦彰治代表取締役を講師に迎えて7月7日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス



「経営資源の究極は、人である」と話す澤浦氏

女性の会 復興を願って 熊本地震に義援金

平成28年7月5日、NOSAI香川女性の会(大塚ノブ子会長)は、会員から寄せられた義援金9万6850円を、日本赤十字社香川県支部に贈りました。

大塚会長は「募金を被災地の方々が少しでも笑顔になれるよう役立ててください。一日も早い復興を願っています」と、同支部の川部秀則事務局長に手渡しました。



義援金を手渡す大塚会長

読者の声

桃を作っています。去年はイノシシの被害に困り、今年は電気柵を設置しました。
(さぬき市 女性 88歳)

毎日おいしい野菜や牛乳が食べられるのは、農家や生産者の方のおかげです。
(高松市 女性 27歳)

最近、娘と畑へ行くのが日課です。野菜が多く実り、もうすぐ収穫です。
(坂出市 男性 65歳)

前号を見てのご意見

かなたまキッチンへ、ぜひ子どもたちと一緒に歩いてみたいと思います。
(さぬき市 女性 40歳)

「さぬきのめざめ」を栽培している川本陽子さん、30代の若さで新しいことに挑戦する姿は、スアキです！(高松市 女性 58歳)
創作キッチンが「男の料理」でもできそうに参考になります。
(丸亀市 男性 68歳)

表紙の三谷将支さん、私のお友達のお孫さんです。指名買いてくれるなんてすばらしいです。将支さんがなれば。
(三豊市 女性 78歳)

たくさんのお便りをいただき、ありがとうございます。

酢飯でさっぱり オリーブ牛ののり巻き



● 材料(4人分)

- オリーブ牛(うす切)……250 g
- ご飯……2合
- 酢飯調味料
 - 柿酢……40cc
 - A 砂糖……25 g
 - 塩……6 g
- ショウガ……25 g
- オリーブ油……適量
- しぐれ煮調味料
 - B 酒……大さじ2
 - 醤油・みりん・砂糖……各大さじ1
- サンチュ……8枚
- のり……4枚

今回の食材

オリーブ牛



料理紹介者

野菜ソムリエ
料理教室「なあ〜ちえ」
(高松市木太町)
主宰
いげだ なお
池田 奈央さん



Point

オリーブ牛の上質な脂身はさっぱりしていて、しぐれ煮にぴったりです。まるやかでコクのある柿酢を使って砂糖の量を抑えました。酢飯と合わせることで、夏のお弁当にも使えます。

作り方



① 温かいご飯に材料 A を混ぜ合わせ、素早く冷ます。



② フライパンにオリーブ油、ショウガの千切りを入れ加熱する。ショウガの香りが出てくれば、オリーブ牛を入れ炒める。



③ 材料 B を加え、水気がなくなるまで炒めて少し冷ます。



④ のりに酢飯をのせ、手前にサンチュ、その上にしぐれ煮をのせ、くるりと巻く。

「オリーブの複合経営作物として、収益性や効率性を考えた時に、アスパラ栽培が一番良いと選択しました」
収穫から出荷まで全てを、選果場の作業支援を活用しながら一人で行います。気を付けていることは、病虫害の被害が広がらないよう、ハウス内を細かくチェックすることです。

遊休ハウス5棟(30坪)を借り受け、平成23年からアスパラガス栽培に取り組んでいる小豆島町池田の高尾豊弘さん(46)。主力のオリーブ栽培と加工で経営する株式会社高尾農園を20年に立ち上げた代表者です。



表紙の続き、